

水産業復興への取り組み

宮古で再建「番屋」が完成



宮古市内で津波によって流された「番屋」と呼ばれる漁船員たちの休憩所が再建され、24日、現地で式典が行われました。宮古市魚市場内の敷地に再建された番屋は、日本財団がおよそ5,000万円の資金援助をして整備したものです。この番屋は全国各地から宮古に水揚げする漁船員たちの休憩所や作業場として、およそ3年前に建てられましたが、津波によって流されました。再建された番屋には従来もあった休憩室やシャワー室のほか、2階部分にセミナーハウスを新築。高校生の実習や地域住民の交流の場としても活用できるようになっています。番屋の整備は全国から訪れる漁船に、宮古の魅力をアピールできる大きなポイントになりそうです。(8/24 ニュースエコーより)

被災したJR大船渡線

BRTでの仮復旧受け入れへ



被災したJR大船渡線の沿線3つの市はJR東日本が提案したバス高速輸送システム＝BRTでの仮復旧を受け入れる姿勢を示しました。27日大船渡市で被災地域の公共交通機関のあり方を話し合う会議が開かれ、大船渡線沿線の大船渡市と陸前高田市、それに気仙沼市の市長がBRTによる仮復旧を提案したJR東日本に要望を行ないました。JR大船渡線は去年の震災による津波のため、現在も大船渡市の盛駅から宮城県の気仙沼駅までが不通となっています。要望は陸前高田市内への新駅の設置など14項目にわたり、JRは「要望に沿えるよう調整をしたい」と答えました。(8/27 ニュースエコーより)

久慈発「ファストフィッシュ」

「骨取りさんま」全国発売



三陸鉄道と久慈市漁協、イオンが共同で開発した、ファストフードならぬ「ファストフィッシュ」の「骨取りさんま」が24日、発売されました。

3つの味付けがあり、めんどろな骨を取り、にんにくやバジルで味をつけ、袋から出せばフライパンで焼くだけ、という手軽さ。東北を中心に全国のイオングループ500店舗で販売されています。(8/24 ニュースエコーより)

陸前高田 & 大槌発

「さんりく元気ラジオ！」

臨時災害FM局をつなぐIBCラジオ「さんりく元気ラジオ！」(毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～)、29日は2局から発信。陸前高田災害FMからは阿部裕美さんが、被災した老舗醸造業



「八木澤商店」の新店舗から中継し、河野和義会長に開業までの苦労や思いを伝えました。また、おうちさいがいエフエムからは、金崎伊保子さんが、被災したお寺の再登録についての呼びかけや、先日行われた吉里吉里祭りについてレポートしてくれました。(写真は陸前高田災害FMのスタッフのみなさん)

山田発

「元気発信！ラジオ希望堂」



『被災地で前向きに取り組んでいる人の姿を紹介しながら、元気を発信していこうという内閣府提供「元気発信！ラジオ希望堂」。(毎週土曜午後0時40分～)』9月1日は、山田町商工会の会長、阿部幸栄さんに商店街の現状と課題、今後の思いを伺います。(写真は山田町商工会)

「IBC復興支援室だより」では、ラジオ、テレビなどIBCを通じて放送する、震災復興に関するさまざまな情報をピックアップし、リリース等を通じて定期的に発信・紹介します。
IBC復興支援室事務局(ラジオ放送部内) 019-623-3122